

## 宮城教育大学附属国際理解教育研究センター

事業名	国際交流活動からはじまる私の国・あなたの国への理解						
実施期間	2015年7月1日～2016年1月31日						
場 所	国立大学法人宮城教育大学附属国際理解教育研究センター						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	71	1,115	1	40	16		1,243 名

### <実施内容>

本学は、県内唯一の教員養成大学であり、教員志望の留学生も多く、急速に進む国際化・多文化共生への対応を迫られる学校現場に対し、数年にわたり留学生と訪問し、国際交流活動を行っています。そこで、本年度は、助成金を活用し、児童生徒、地域の特徴に合わせたプログラムをのべ12校で行いました。さらに、過去の実践をまとめ、より効果的な国際交流活動を県内外に発信するツール(ハンドブック)を作成し、これまでの活動を深める事業を展開しました。



市内の小学校での国際交流活動の様子

いざというときのごはんの炊き方を留学生に紹介(防災・減災)

作成した国際交流活動ハンド

留学生の国のボードゲームに挑戦

留学生に児童による「はねこ」の披露

留学生の国のボードゲームに挑戦

留学生の国のボードゲームに挑戦

留学生の国のボードゲームに挑戦

### <参加者からのコメント>

ディルルクシさん(スリランカ)/Dilrukshi(Sri Lanka)

留学生が日本の小学校を訪問し、子どもたちと交流するのはとてもいいことだと思う。みんな色々な国から来ているので子どもたちと自分の国のことについて色々話したり、教えたりすることができると思う。また、日本の学校から見習うべき点もたくさんあると思う。

莊雅筑さん(台湾)/Chuang Ya-Chu(Taiwan)

子どもたちと私は緊張していたが、いろんな質問をして、どんどんもりあがって、とてもたのしかったです。

小学校教員(日本)/Elementary School Teacher(Japan)

少ない打ち合わせ時間で、多くの子どもが「外国人と交流できた」と満足感を感じられる活動を計画することができました。多くの外国人留学生の方に来ていただいたお陰です。口で説明するより実際に体験することの方が何倍も緊張し、おもしろかったです。ありがとうございました。